



僕が

先輩の身体を

守るんだ2

おお
来てくれたかあ

ん？
おお？
なんだその格好は

はあ？
着てこいって
言っただけから！

言う事聞いたら
終わりにするって！

先生のため
してくれ

なあ相沢
今日一日ぐらい
いいだろ

今日一日は
全て忘れて

いつもの優等生相沢は
学校だけでいい

大丈夫
先生が全てを
受け入れてやる

ほら
言ってみろ
お前の口から

お前が今
一番して欲しい事を

ゴムも...
付けてないし...

許さない

許さない...

おい相沢

さすがに
声出し過ぎだ
バレちゃうぞ



先輩と身体が
入れ替わってから
二週間が経った

はあ
やっぱりまだまだ
慣れないなあ

僕の今までの人生で
これだけ沢山の人に
慕われる事があったら
だろうか

おはよう
ございます

元の身体とは
真逆の人生を
毎日経験している

あ、
おはようっ

改めて先輩って
凄い人なんだな

もし戻った時のために
先輩の評判を下げないよう
振る舞わなきゃ

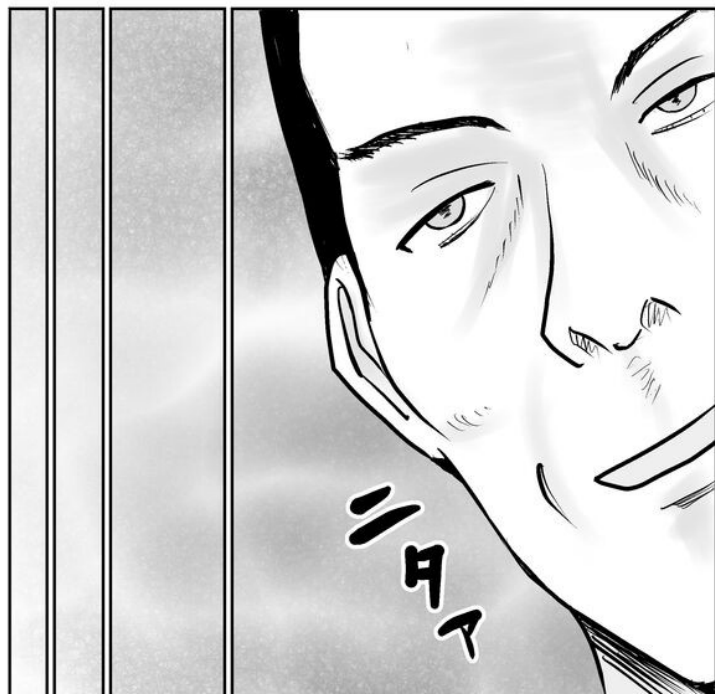
先生おはよう
ございます

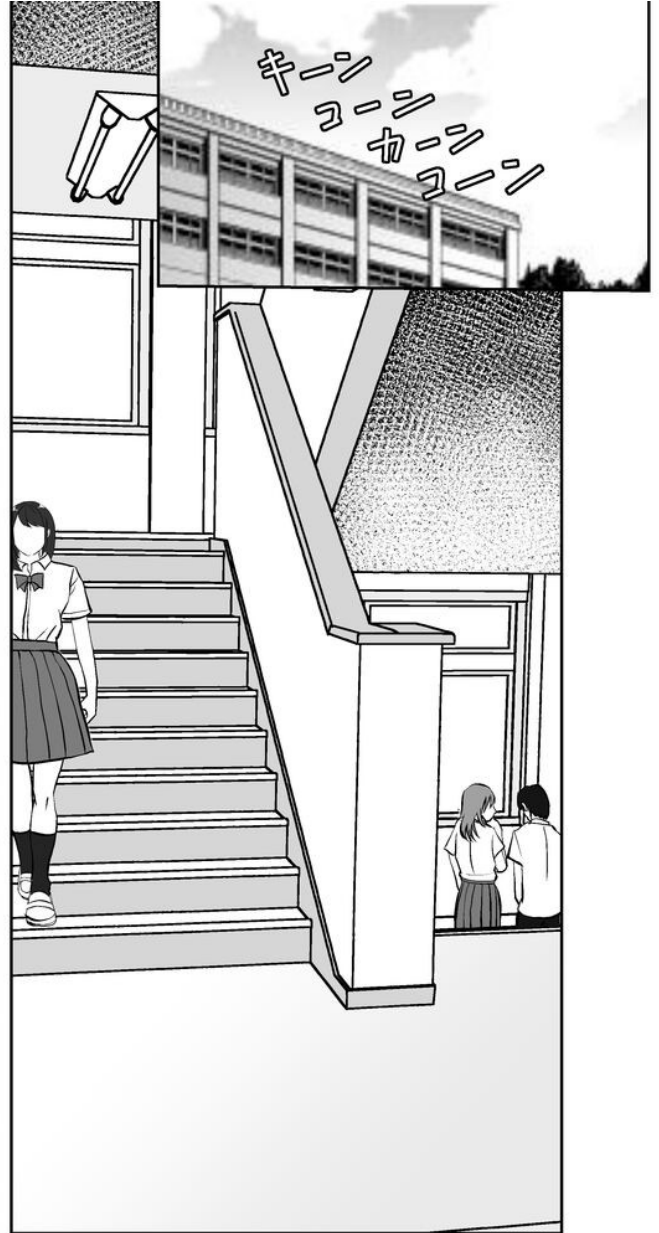
……って

ほらー
もうチャイム鳴るぞー
早くしろ

……

ギョ







あ
久々だなあ

お前が
走ってる姿を
見るのは…

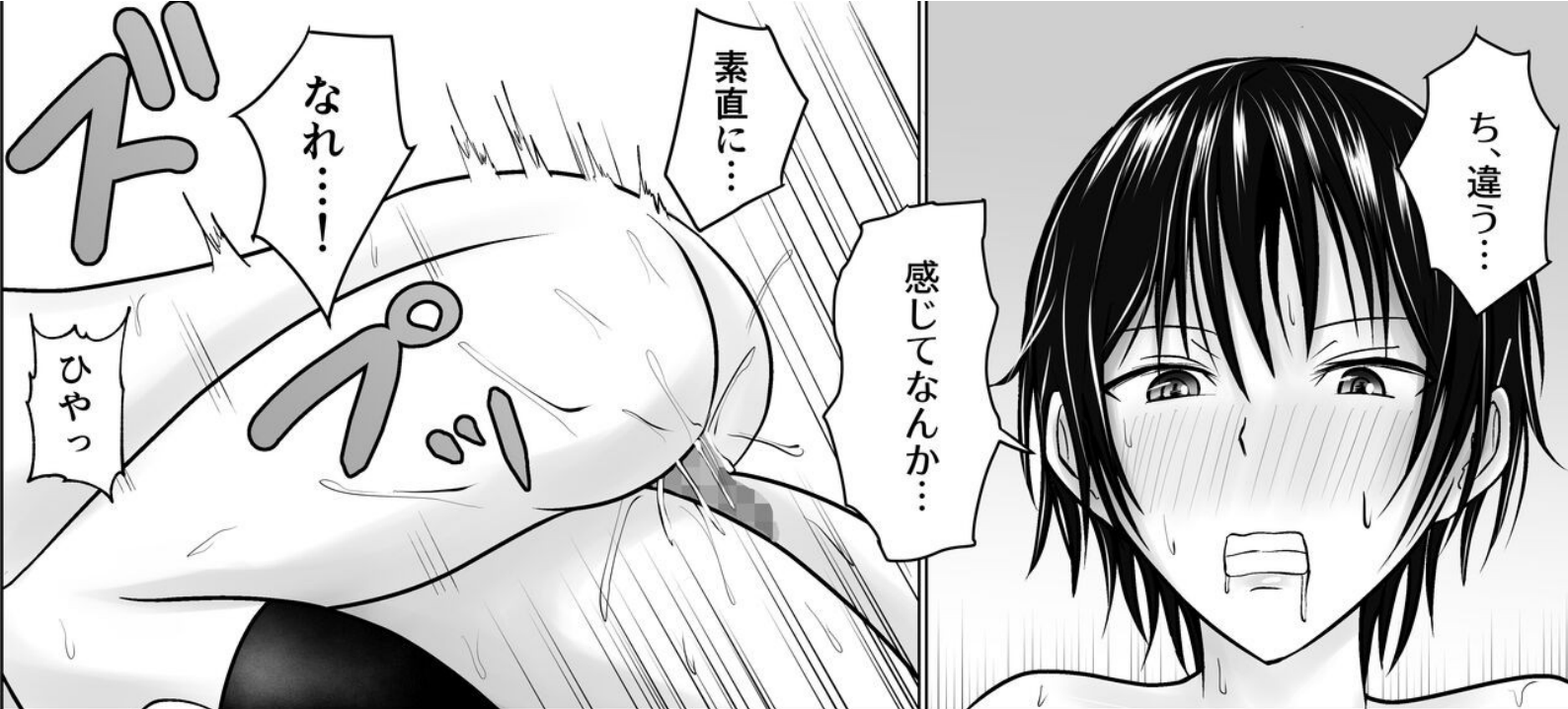
あ
ん
ん
あ
明日から
部活復帰かあ

は
あ
あ
そうかあ

ズブッ
グググ
フチュ
フチュ

フチュ
フチュ
あ
ん
あ
は
あ
は









結局

あれから
まともに断る
事も出来ず

だらだらと
関係は続いている…

カ
ラ
ッ

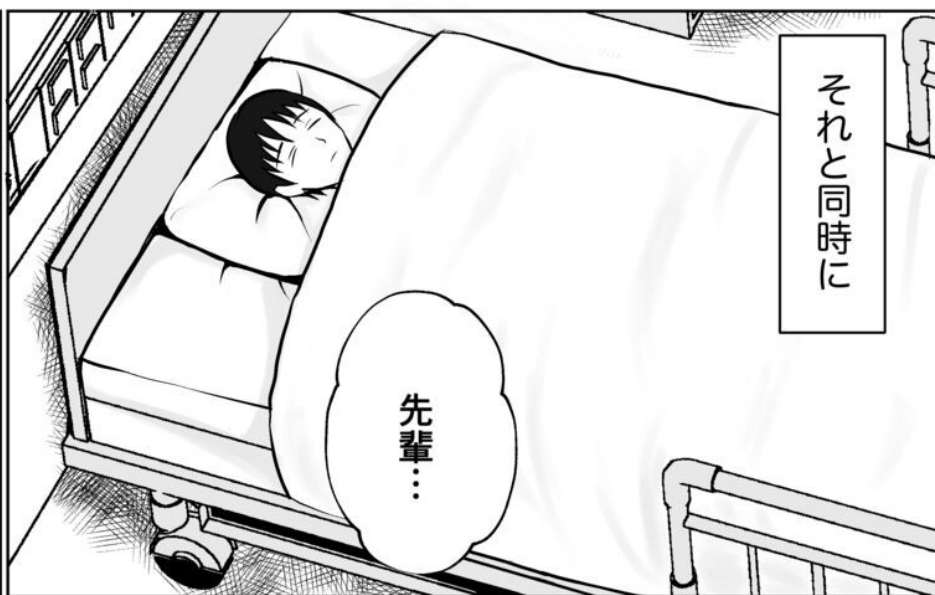
それと同時に

先輩…

回数を
重ねる事に起こる
この身体の変容に

僕は戸惑いを
隠せずにいた

ゴ
ッ…





先輩…
早く目を
覚まして下さい…



って言っても
先輩が
今のこの現状を
知ったら…

きっと失望
されるんだろうな…



もしも…
あんな姿を
見られたら…



一体
なんで…

頭では、心では
ダメだと
分かってるのに
どんどん
この身体が…



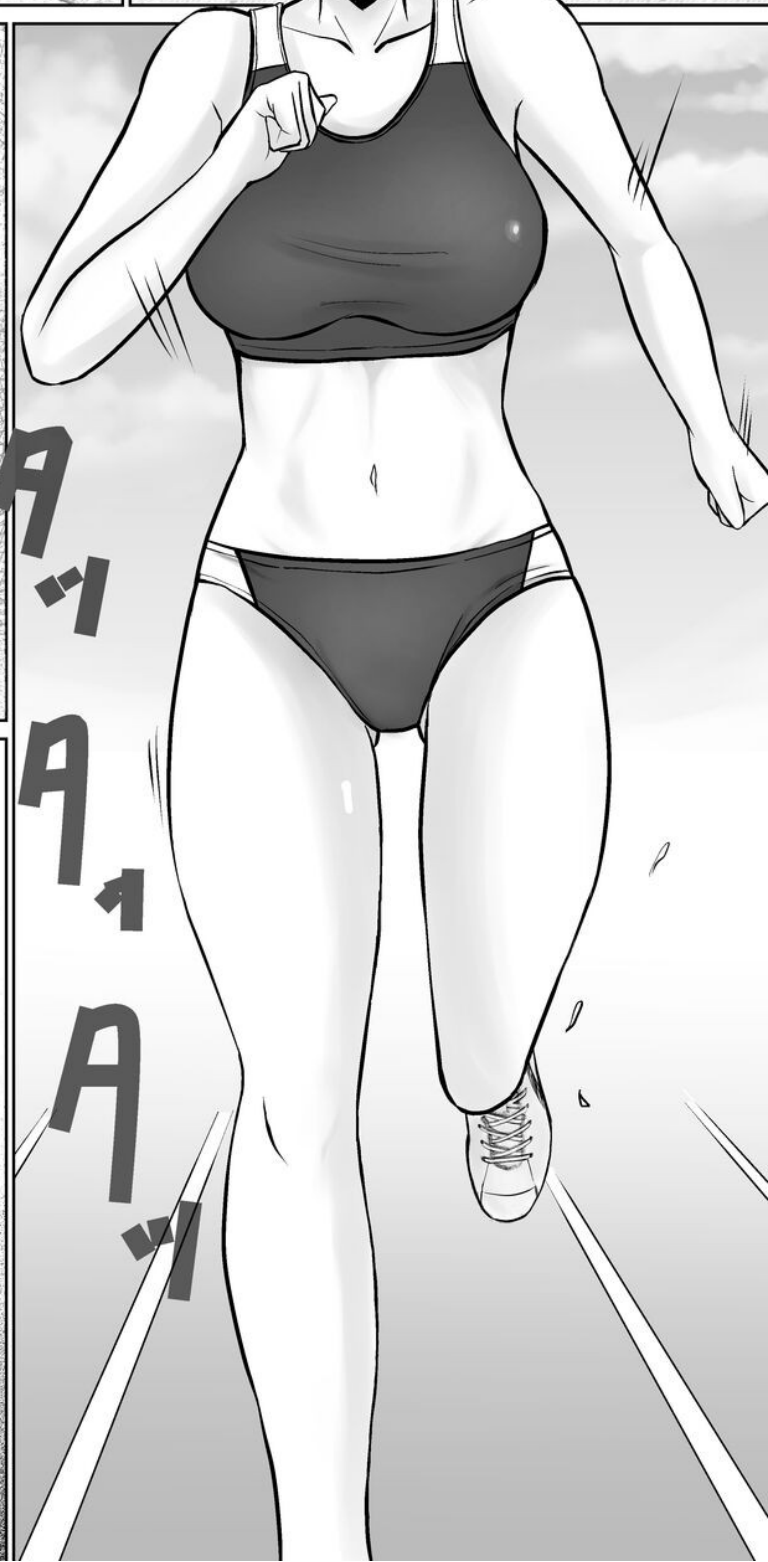
いや
気をしっかり持て



先輩なら
絶対いいなりに
なんかならない

僕が今先輩なんだ
僕がしっかりしなきゃ

こんな事
終わらせなきゃ…!!



うう、
皆んなの
視線が痛い！

そもそも
いつも見てた
この格好で
走らってというのが！

嬉しいような：
恥ずかしいような：

おっぱいって
大きいと大変
なんだな！

ハアハア
ダメだダメだ
雑念だらけだよ

ダメだ
集中しなきゃ！

無心になって
先輩になりきれば
走り方はきつと
身体が覚えてるはず



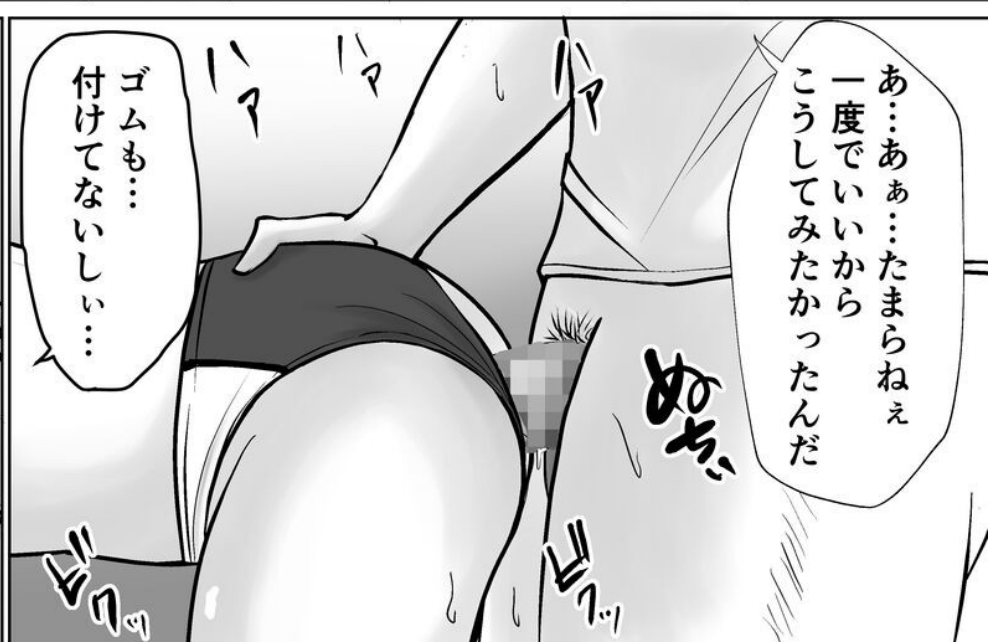
先輩：
まだ調子
悪そうだね！

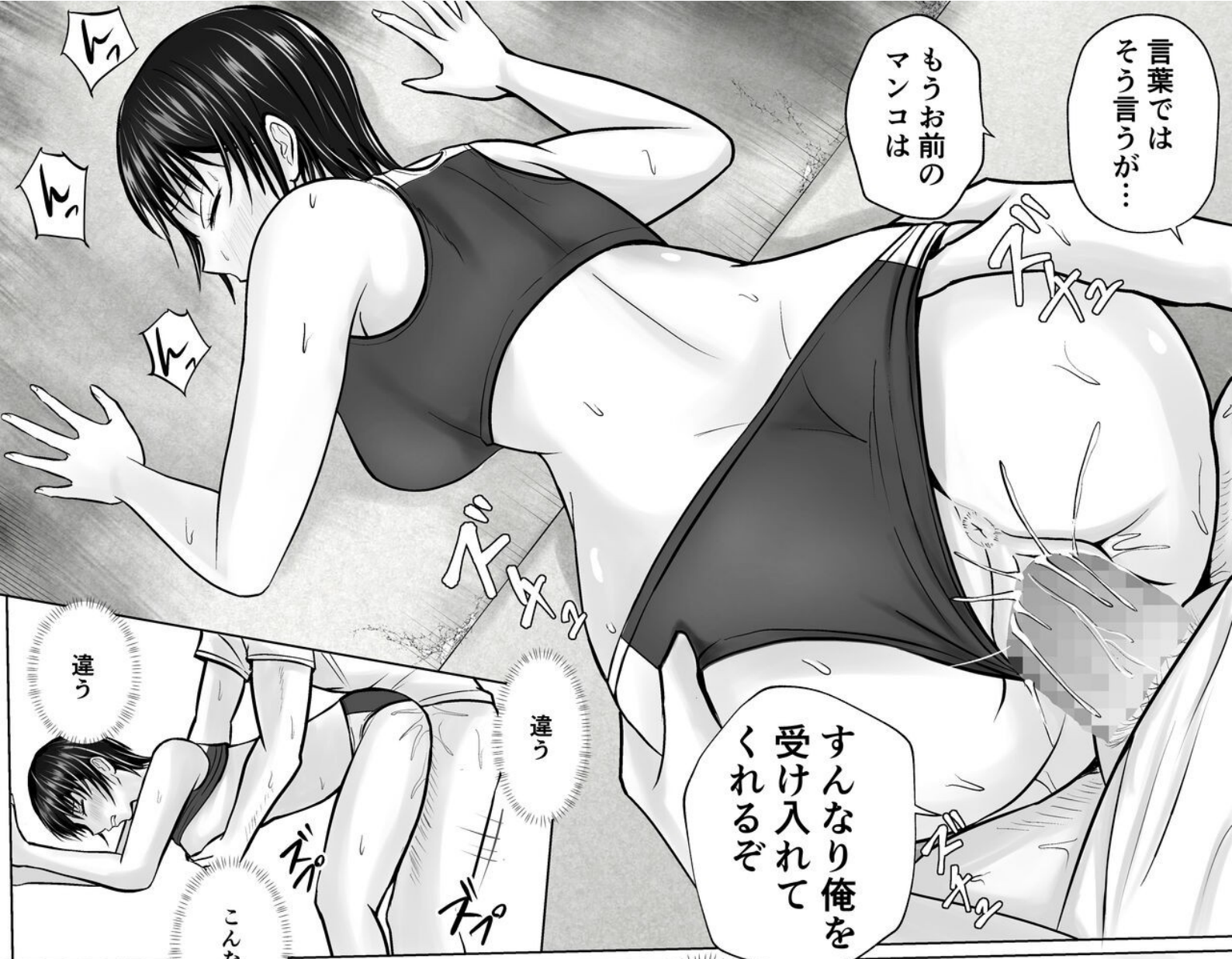
私は相沢結衣
脚が速い

私は相沢結衣
脚が速い

相沢







言葉では
そう言うが...

もうお前の
マンコは

すんなり俺を
受け入れて
くれるぞ

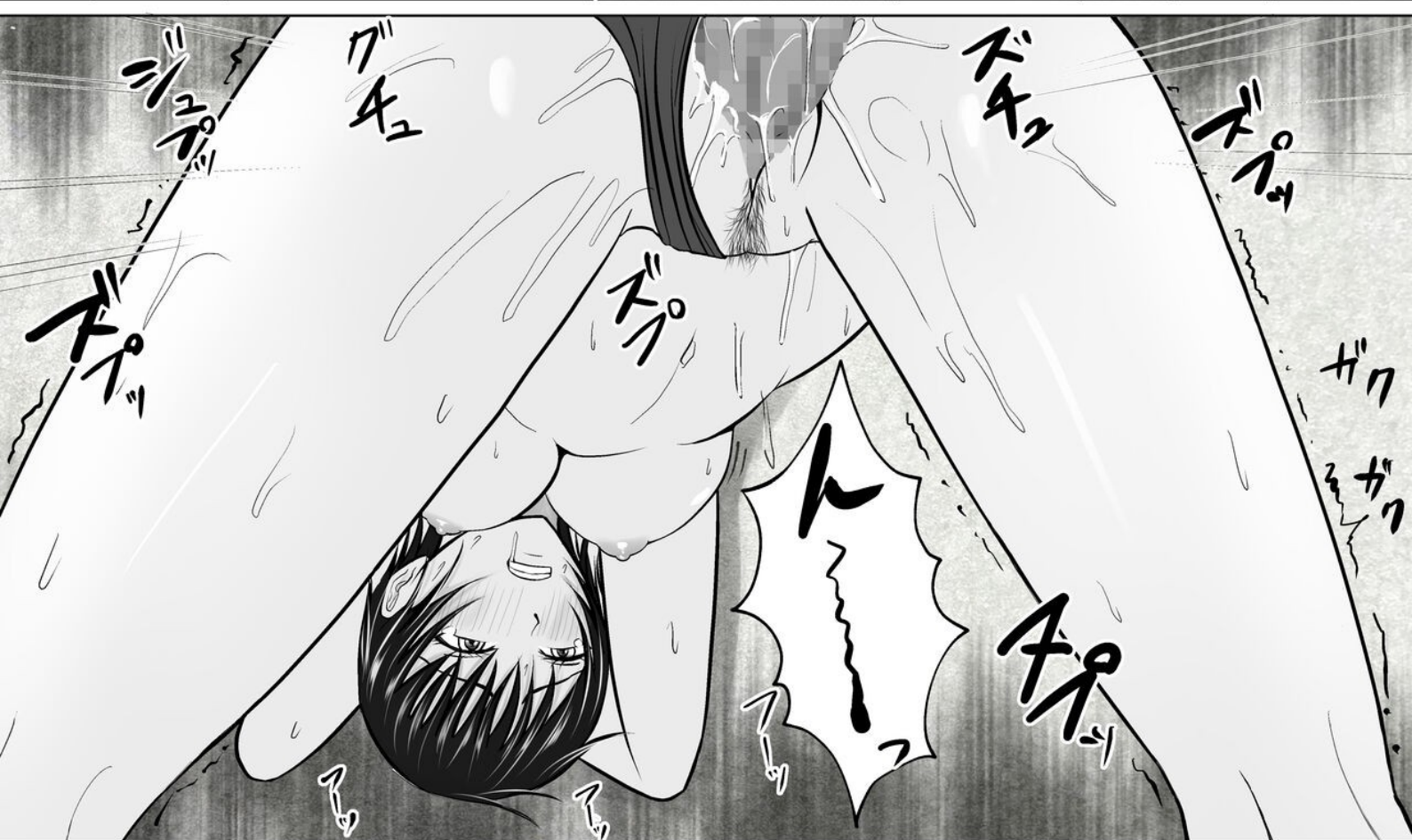
絶対っ...!

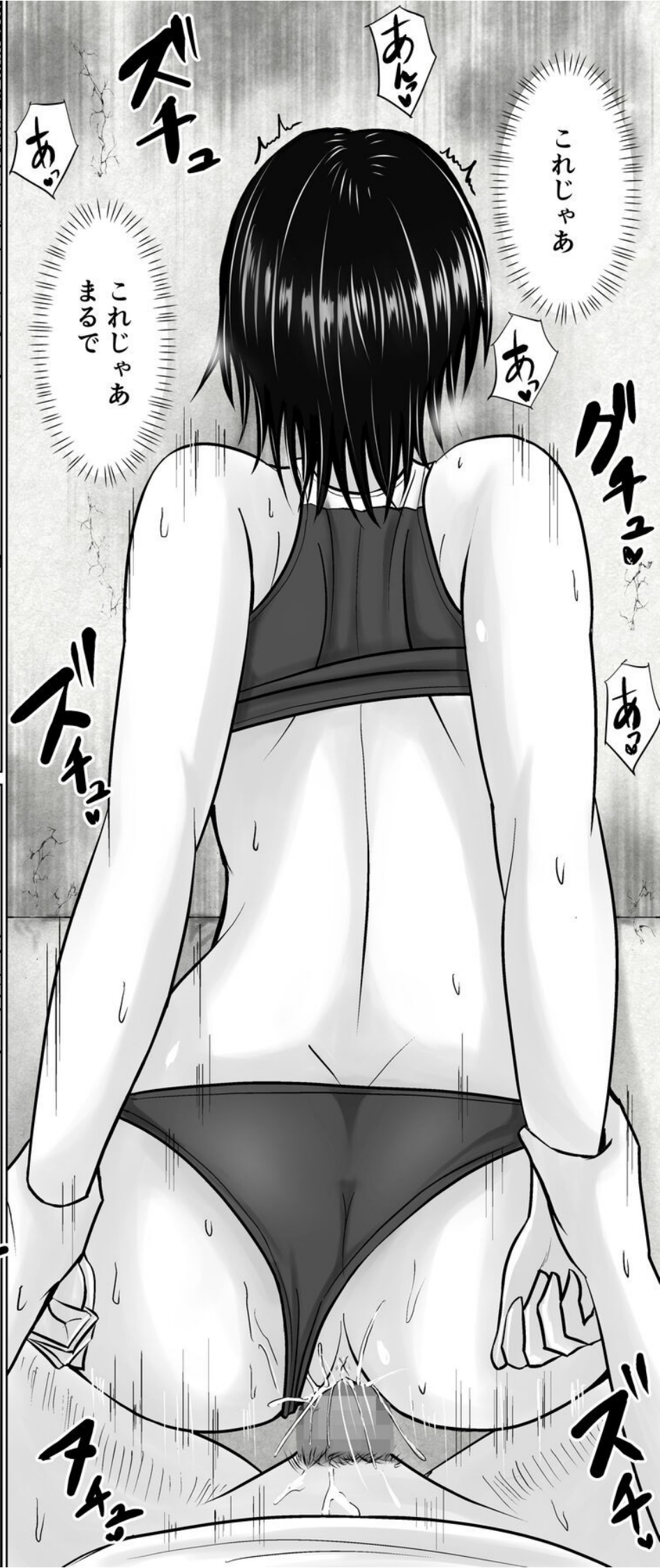
こんなの

違う

違う

はああん







言わなきゃ!

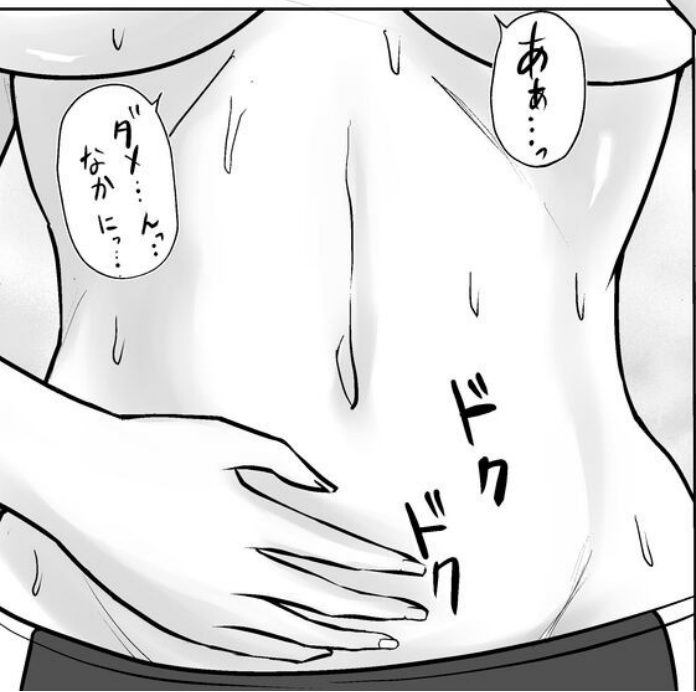


こんな事...



じゃないと...
身体が...
おかしく...

んはあ
あああ

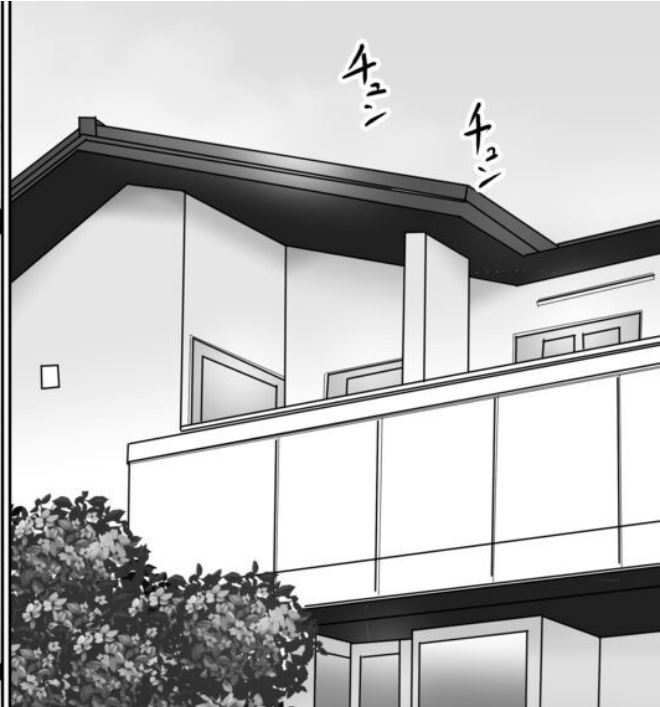


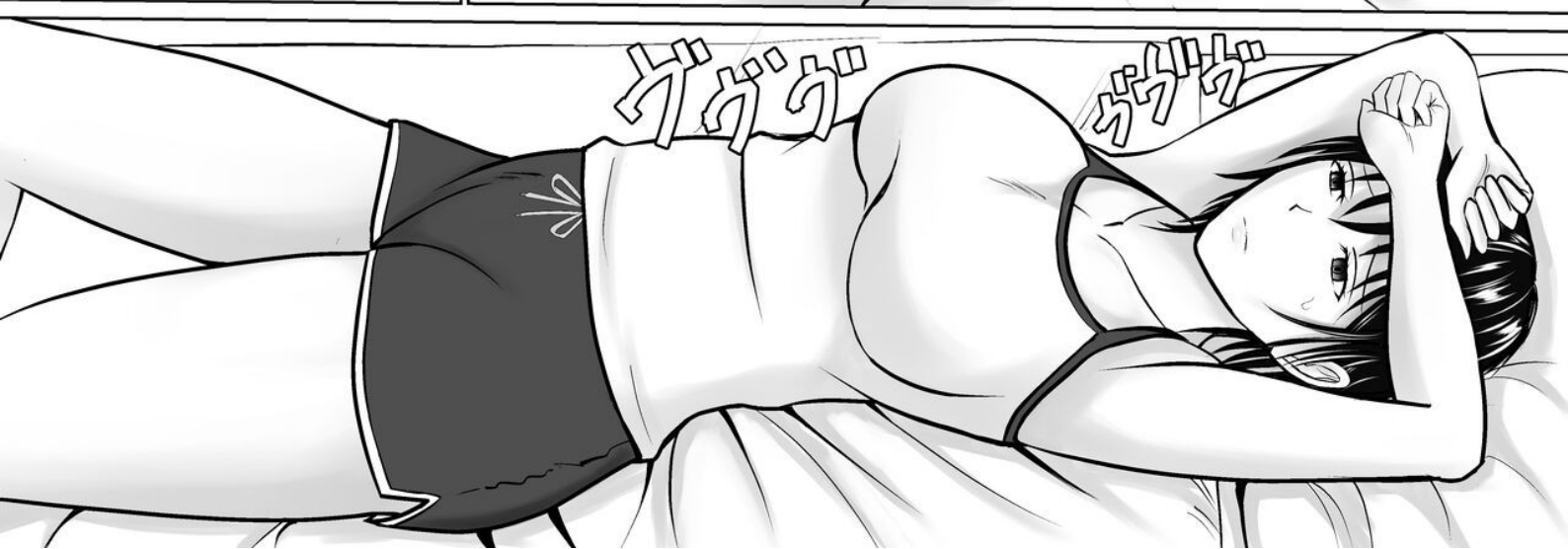
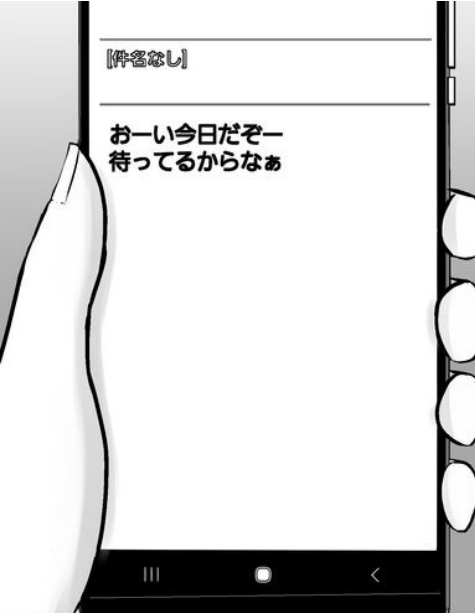
ああ...

ん...
なか...

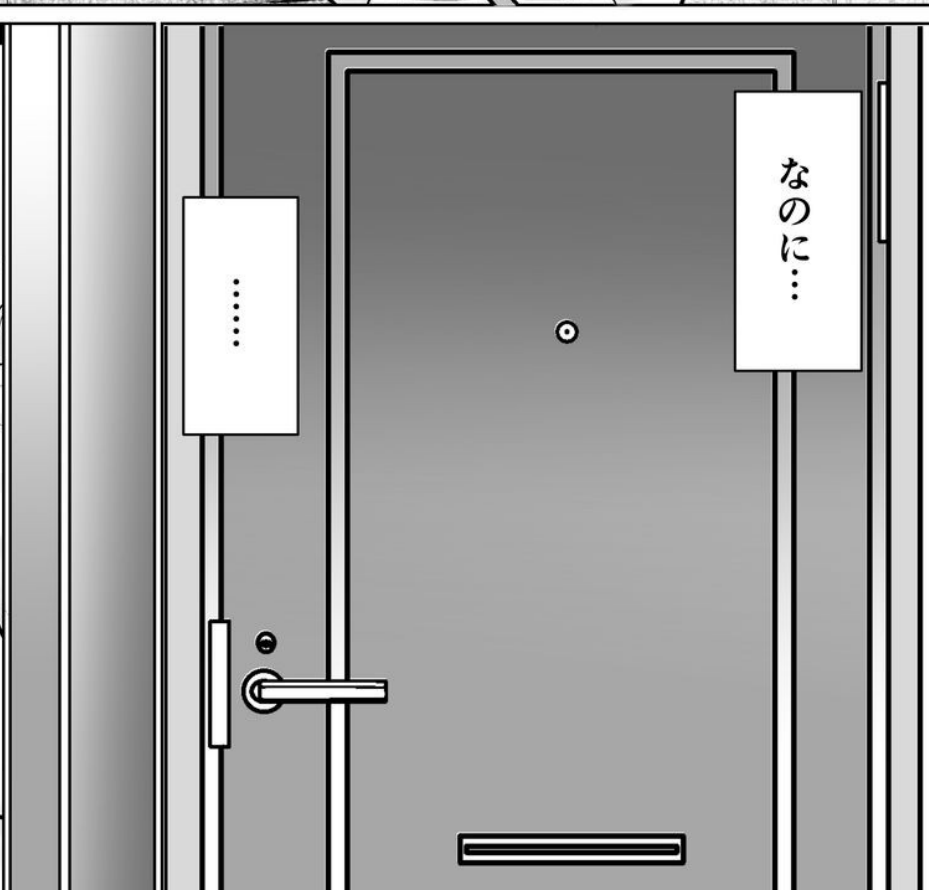
ドク
ドク













はあ？
着てこいって
言ったから！

言う事聞いたら
終わりにするって！



おお
来てくれたかあ

ん？
おおっ？
なんだその格好は

先生のためにおめかし
してくれたのか？



ああ言ったかな
言ったな
ああそうだ
今日が最後だ



最悪だ：
やっぱ来なきゃ
よかった

それに俺はな
女らしい格好を
って言っただけだぞ

まさかお前が
そんな前向きに
考えてくれるとは



さあ
上がれ上がれ

休日なのに…

こんな所まで
来て…

そもそも
ここに來たって事は…

そういう事になるって
分かってるのに…

そうだよ
やっぱりどうかしてた

何を考えてたんだ
僕は

もうこんな事
終わりにしよう

ほら
こっちだ

そう決めた
じゃないか

今からでも…きつと…
まだ引き返せるはず…

あ…あのっ
やっぱり帰り…

うっ…

この感じ…

こ、これだ
最近身体に
異変があるのは

ドクン

いっ

この…
男性特有の
フェロモン？

以前ならこんな場所
ただの一秒も
いたくなかったのに…

先輩の身体が反応を…
いや違う

これは女性の本能が
強烈なオスの匂いに
引き寄せられるような

ここはダメだ
ここにいちやダメだ

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン



また
いつもと同じ...

結局...こうなると...



って...
バカバカ
僕のバカ野郎

今日一日言う事を
聞くんだったな

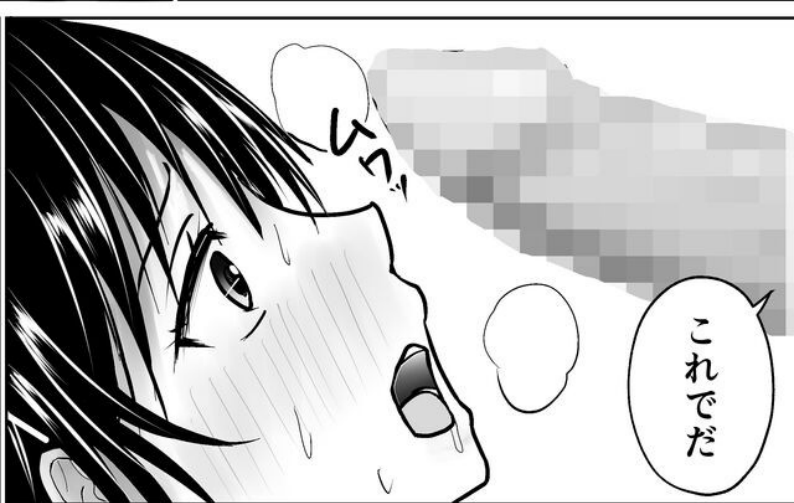


なら俺からの
命令は一つだ



今日一日は
自分に正直になれ







今は二人だけだ
誰にもバレる
心配はない



なあ相沢
今日一日ぐらい
いいだろ

今日一日は
全て忘れて

先生に
身を任せればいい



いつもの優等生相沢は
学校だけでいい

大丈夫
先生が全てを
受け入れてやる

ほら
言ってみろ
お前の口から

お前が今
一番して欲しい事を



女の子の身体って...

なんなの

なんなの...

もう...ハア

もう...なんで
僕の...バカ...

...てください...

ん?
なんだって?

...挿れて下さい

先生の
オチンチン

私のオマンコに





はあどうだ相沢あ
先生のチンコは？

もう今は
お前のマンコに
ピッタリだろ！



ああ…
もう
いっか…

ちい…
です…



今日だけ



先生のオチンチン
気持ちいいですう

もう…
我慢しなくても
いっか…



今日だけだから

しちゃ

ん♡



そうか…
全部分かつちやった

あつ♡

あん♡

あーん

あーん

あーん

僕に無いものを
全て持っている
大好きな先輩…

だから僕は

いつも遠くから見
事しか出来なかつた
憧れの…

僕のずっと
憧れだった相沢先輩

そんな
大好きな先輩の
身体になれた事が…

心の底から
嬉しかったんだー

はあん♡

嬉しい：
全てを感じ取れる

ああダメ
すごいっ
激しっ
オチンチン
激しい

先輩の身体でっ

この身体も
この声も
この快感も……！

ああダメっ先生
しゅごいの
しゅごいのくる……！

クッ
相沢イクぞ……！

一緒に……っ！

イクっ……
イクっ……

イッちゃう……！

今は全部……
僕のもの……









い…意識
飛びそう…



それに
さっきのと
合わさって
凄い量の
精子…

こんなの…
妊娠しちゃう…



女の子の身体
気持ち良すぎるよお

女の子気持ちいい



何も
考えられにゃい…

でも…
もう気持ち良すぎて…

それからの事は
あまり覚えてない

ただ、今まで心の底に
溜まっていたものが
全て解放されたような

そう、全てを
受け入れて
しまった事で



初めてこの身体と
僕の心が
一つになれた気がした

だからいつしか
元の身体の事も
先輩の事も忘れ...

ありのままに
この身体の
本能のままに
教師と生徒ではなく

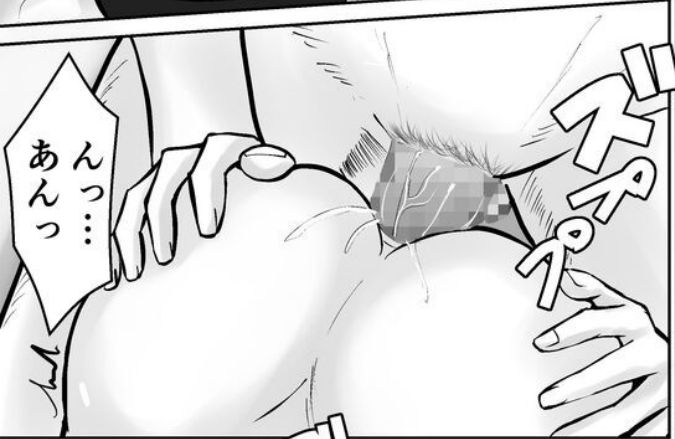


一匹の
オスとメスとして

互いを
求め合い

快楽に身を委ね
交尾を繰り返した

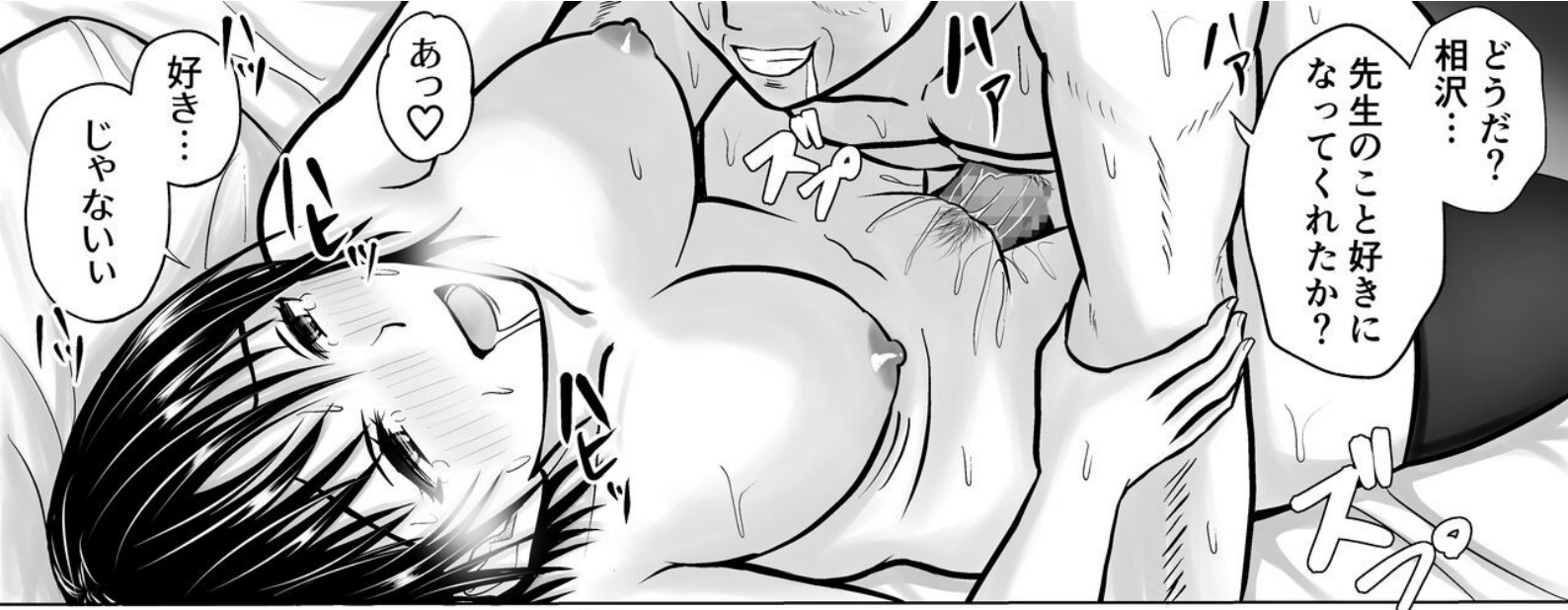
















先輩の身体…
汚しちゃった



先輩
ごめんなさい…

先輩が知らないところで



先輩みたいに
前を向いて
生きていこうって

あれこれ
悩むのは
やめようって

相沢
すまんなあ
お前も疲れただろ
今日はもう
ゆっくり休…



でもね…
もう決めたんです

はあさすがに
やり過ぎ
ちまったか…

もう空っぽだあ



先生に教えて
もらっちゃった♡

自分に正直に
生きること



その
最初の一步が

お、おい…

まだ…
足りない…

もう一度言います

僕は先輩の事が
大好きです

きよ、今日は
もう休もう

なっ
先生もうダメだ

ほら
勃った♡

でも…
いつ元の身体に
戻れるかなんて
分からない

先生が
始めたんですよ
責任取って下さい

それに私
体力には自信
あるんですから

だから
その日が来るまで…

これからも
僕がずっとと
ずーっと…

先輩の身体を
守っていきますね♪

あはっ♡

あ♡

ん♡

あ♡ん♡

終

あとがき

この度は「僕が先輩の身体を守るんだ2」をご購入頂き誠にありがとうございます。
前作をたくさんの人に手に取って頂けた事、そして続きを読みたいと言って貰えた事が何より嬉しかったです。
本当にありがとうございます。

次回作は○りっ娘のTSモノを描こうかと構想中です。
今回は発売までに半年かかってしまいました。
なので次回はページ数を少し減らして執筆速度をあげ、年内に発表できるよう頑張りたいと思います。
これからもまた応援の程、何卒宜しくお願い致します。

滝野みしん

発行日 2022.7.18